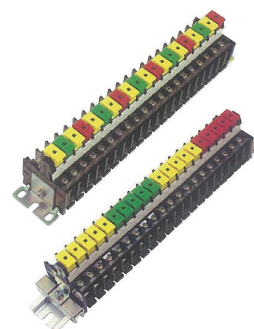


DC形 断路端子台

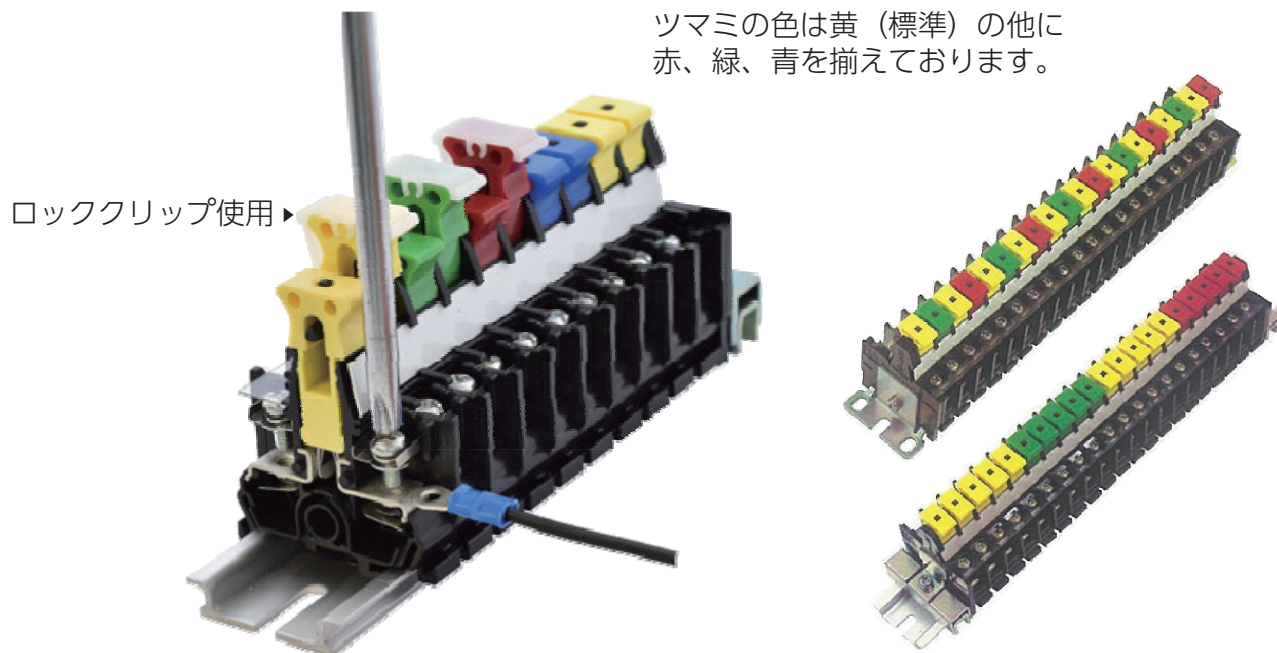
ロッククリップ使用▶



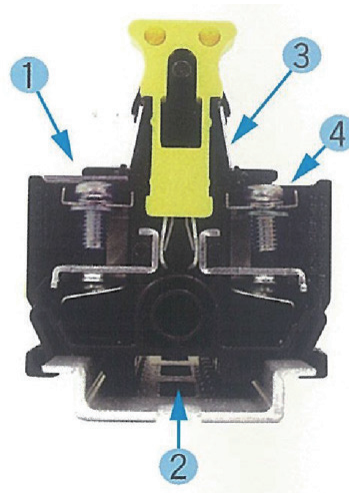
<DC形 断路端子台 目次>

特長	D-60
準拠規格	D-60
定格・仕様	D-61
使用電圧・電流	D-61
各接触部仕様の特長および選定時の注意点	D-61
遮断電流	D-61
形式の選び方	D-62
部品一覧表	D-63
外形寸法図	D-65
参考資料	D-66
オーダーシート	D-72

特長



- ①丸形圧着端子の挿入、締付が迅速で確実
- ②レールへの途中着脱が可能（DINレール、C・Sレールとも）
- ③記号板の幅が10mmで、信号名の記入が容易
- ④端子カバーの着脱が容易
- ⑤接触部仕様が豊富
- ⑥端子ねじ仕様が豊富



準拠規格

- JIS C 8201-7-1 低圧開閉装置及び制御装置－第7部：補助装置－第1節：銅導体用端子台
- NECA C 2811 工業用端子台
- IEC 60947-7-1 Low-voltage switchgear and controlgear - Part 7-1:
Ancillary equipment - Terminal blocks for copper conductors

定格・仕様

項 目	錫めっき仕様	銀めっき仕様	金めっき仕様
定格絶縁電圧	AC/DC 660V		
定格通電電流	20A		1A
絶縁抵抗	100MΩ以上（500Vメガー）		
商用周波耐電圧	2,500V 1分間		
接触抵抗（初期値）	5mΩ以下		
温度上昇	接触部の温度上昇値20℃以下		
連続開閉耐久性	1,000回以上 ※1		500回以上 ※1
使用温度範囲	-20℃～+60℃（但し、氷結または結露しないこと）		
使用湿度範囲	45%～85%Rh		
端子ねじ	M4×8		
適合電線	3.5mm ²		
最大接続可能電線	5.5mm ²		

※1.連続開閉耐久性は無電圧開閉回数

使用電圧・電流

接触部仕様	使 用 範 囲
錫めっき (Sn)	一般環境：AC/DC660V・20A～DC24V・50mA 良好な環境：AC/DC660V・20A～DC5V・1mA ※2
銀めっき (Ag)	
金めっき (Au)	DC24V・50mA～DC1V・1mA

※2.良好な環境：腐食性ガスや微摺動磨耗が発生しない環境

各接触部仕様の特長および選定時の注意点

接触部仕様	特長および選定時のご注意点
錫めっき (Sn)	突入電流による熱膨張の繰返し、高調波、振動等による微摺動磨耗が発生する環境でのご使用は接触抵抗値が上昇します。
銀めっき (Ag)	微摺動磨耗が発生する環境でもご使用頂けますが、銀は硫化や酸化しやすく、接触部以外は接触抵抗が増加し変色します。 尚、銀めっきは錫めっきに比べ開閉耐久性は低下しますが、開閉することにより表面の硫化物や酸化物の被膜を破壊し良好な接触抵抗を保つことができます。
金めっき (Au)	硫化ガスが含まれている環境や、低電圧・微小電流の操作頻度の少ない回路に適しています。

遮断電流

断路端子台は無電圧開閉が原則ですが、下表に示す範囲の電流を遮断することができます。
但し、金めっき仕様は遮断できません。

電圧 (V)		24	48	110	220	440
交流 (A) (力率0.4)		—	—	20	10	5
直流 (A)	抵抗負荷	10	4.5	2	0.8	0.4
	誘導負荷 (L/R=0.025)	2	1	0.6	0.3	0.2

形式の選び方

ユニット単体

DC □ - □
 ↓ ①仕様 ↓
 基本形式 ②ツマミ色

①仕様

記号	端子部仕様	クイックアップ	端子ねじ仕様
無記入	錫めっき	有	⊕ ⊖ M4×8ねじ+SW+W
R	銀めっき		
G	金めっき		
Z	錫めっき	無	⊕ ⊖ M4×8ねじ+SW
T			
V			
U	金めっき	有	⊕ ⊖ M4×8ねじ+SW+YW
Y	錫めっき		
N	銀めっき		
B	銀めっき	無	⊕ M4×8SUSねじ+SPW+S・W

②ツマミ色

記号	色	納期区分
		○：標準 △：非標準
Y	黄色	○
R	赤色	△
G	緑色	△
B	青色	△

参考重量 (g)

クイックアップ有	17.5
クイックアップ無	15.8

※端子ねじの仕様の符号は次の通りです。

SW：スパック（鋼） SPW：スプリングワッシャー（SUS） W：丸形座金（鋼）

YW：角形座金（鋼） S・W：丸形座金（SUS）

注）DC-Y以外は特殊仕様品となります。

組立品

DC □ 20 - □ - □ □ - □ - (A・B)

基本形式 ↓ ③組立方式 ↓ ⑤記号板取付位置
 ①クイックアップの有無 ②極数 ④ユニット仕様 レール取付ピッチと長さ
 （ご指定がある場合のみ記入）
 A：取付ピッチ（mm）
 B：レール全長（mm）

①クイックアップの有無

記号	仕様
無記入	クイックアップ有
L	クイックアップ無

注）組立品の標準仕様は
 黄色ツマミ、端子カバー付、
 記号板片側付です。
 黄色ツマミ以外の仕様や
 特殊仕様品を手配される場合は
 D-72頁の「DC形オーダーシート」
 にて手配願います。

②極数

※ 固定式は最大30極
 レール式は最大176極
 （2mレール使用時）

③組立方式

記号	仕様
無記入	固定式
C	Cレール組立品
S	Sレール組立品
D	Dレール組立品
DA	DAレール組立品

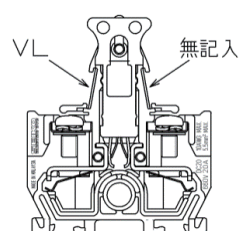
④ユニット仕様（ユニット単体の①仕様と同一）

記号	端子部仕様	クイックアップ
無記入	錫めっき	有
R	銀めっき	
G	金めっき	
Z	錫めっき	無
T		
V		
U	金めっき	有
Y	錫めっき	
N	銀めっき	
B	銀めっき	無

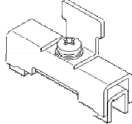
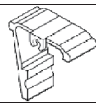
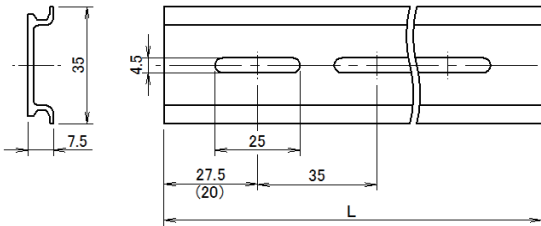
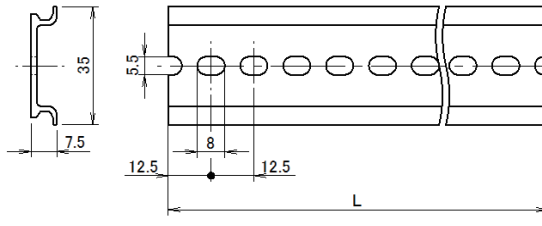
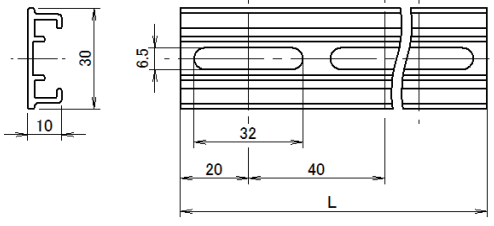
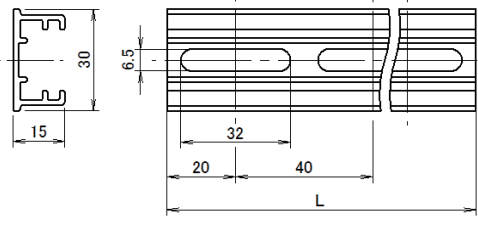
※クイックアップ無の場合は①記号はLとなります。

⑤記号板取付位置

記号	仕様
無記入	右図右側のみ
VL	右図左側のみ
VD	両側
NN	なし



部品一覧表

形式	部品名	外観	1組当りの 必要数	販売 単位	備考	重量 (g)
DCE	DCエンド		2	50個	———	4
HKC	C・S レール金具		2	50個	Cレール・Sレール用	25.5
HKD	D・DA レール金具		2	50個	Dレール・DAレール用	28
HNS	記号板 (定尺)		必要数	20本	サイズ0.5×10×900 (ポリ塩化ビニル(白色))	6.5
HNR	記号板 (ロール材)		必要数	1個	サイズ0.5×10×25m (ポリ塩化ビニル(白色))	210
DC-CS	端子カバー (定尺)		必要数	20本	サイズ0.5×12×1,000 (ポリカーボネート樹脂(透明))	5
DC-CL	L形端子カバー		必要数	20本	サイズ0.5×12×1,000 (ポリカーボネート樹脂(透明))	9.5
DC-CR	端子カバー (ロール材)		必要数	1個	サイズ0.5×12×50m (ポリカーボネート樹脂(透明))	365
DCL	ロッククリップ		必要数	20本	ツマミのロック用 (誤操作防止用)	1
DCP	連動ピン		必要数	20本	横のツマミと 連動させるためのピン (1箇所につき2個使用)	0.5
D1	・ 名称/重量：D1レール (L=1,000mm) /187g D2レール (L=2,000mm) /377g			・ 名称/重量：DA1レール (L=1,000mm) /183g DA2レール (L=2,000mm) /369g		
D2						
DA1						
DA2						
C1	・ 名称/重量：C1レール (L=1,000mm) /223g C2レール (L=2,000mm) /449g			・ 名称/重量：S1レール (L=1,000mm) /278g S2レール (L=2,000mm) /559g		
C2						
S1						
S2						

ショートバー

CT□-5.5-□

①

②

① 被覆色

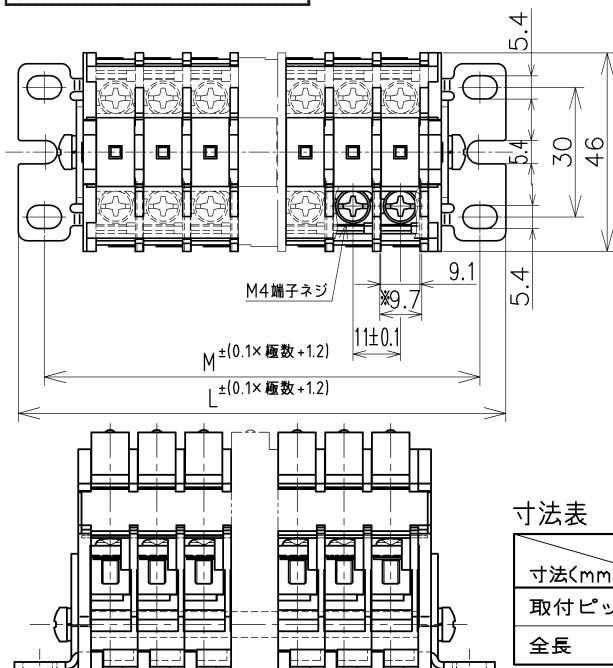
記号	内容
G	緑
B	黒

② 極数

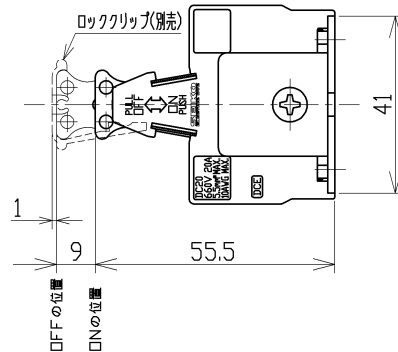
記号	仕様	L寸法(mm)	外観	販売単位	重量(g)
2	2極	20		100個	2.5
3	3極	31			3.9
4	4極	42			5.6
8	8極	86			10.5
12	12極	130			17.4
2P1	2極 間1極なし	31		100個	3.0
2P2	2極 間2極なし	42			4.5

外形寸法図

固定式

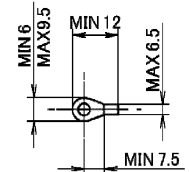


端子ねじの締付トルクは0.8~1.2N・mにて行ってください。



参考圧着端子品番(JST製)

R2-4 R3.5-4 R5.5-4



適合圧着端子図

寸法表

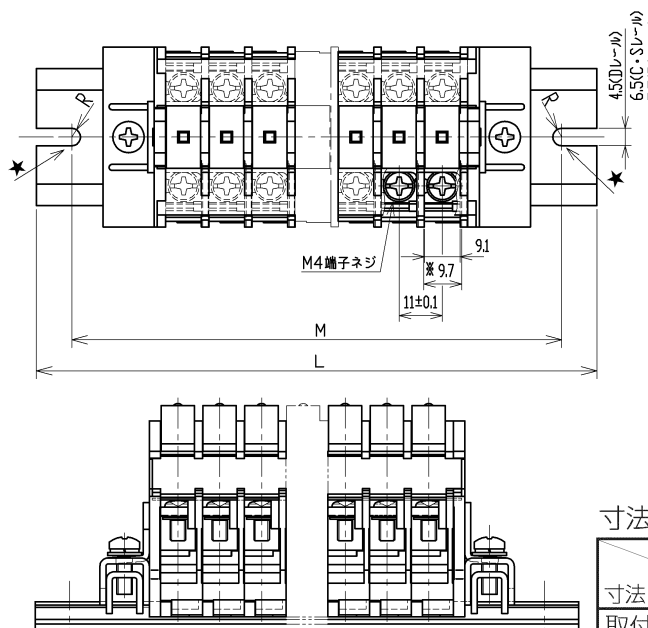
極数P	2	3	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30
寸法(mm)																
取付ピッチ M	46	57	68	90	112	134	156	178	200	222	244	266	288	310	332	354
全長 L	58	69	80	102	124	146	168	190	212	234	256	278	300	322	344	366

◆組立品寸法の計算式

$$M(\text{取付ピッチ}) = (11 \times \text{極数}) + 24$$

$$L(\text{全長}) = M + 12$$

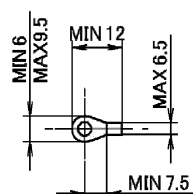
レール式



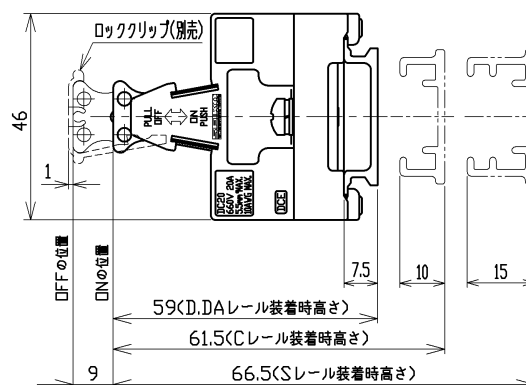
端子ねじの締付トルクは0.8~1.2N・mにて行ってください。

参考圧着端子品番(JST製)

R2-4 R3.5-4 R5.5-4



適合圧着端子図



注記

- 図中の※寸法は、圧着端子挿入部寸法を示します。
- 図中の★印部の形状は図示状態と異なる場合があります。

寸法表

極数P	8	10	12	14	16	18	20	22	24	30	40	50	85
寸法(mm)													
取付ピッチ M	136	158	180	202	224	246	268	290	312	378	488	598	983
全長 L	154	176	198	220	242	264	286	308	330	396	506	616	1,000

◆組立品寸法の計算式

$$M(\text{取付ピッチ}) = (11 \times \text{極数}) + 48$$

$$L(\text{全長}) = M + 18$$

最大極数=176極(レール全長2m)

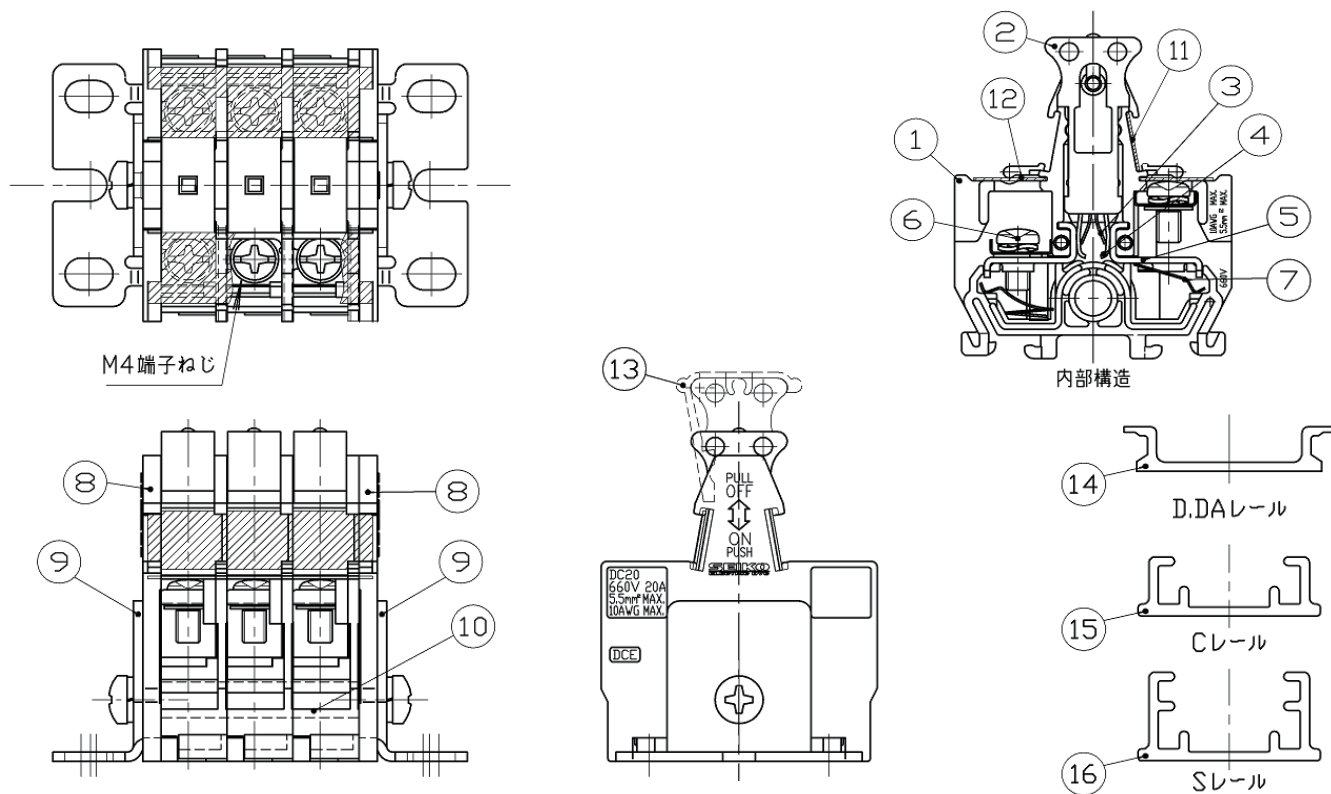
標準以外の寸法はD-72頁のDC形ジスタオーダーシートへ記入ください。

接続機器

DC形

参考資料

各部名称および材質



品番	品 名	材 質	処 理	難燃グレード	備考
1	DCベース	変性PPE樹脂（黒色）	—	UL94 V-0	錫/銀めっき
	DCGベース	変性PPE樹脂（灰色）	—	UL94 V-0	金めっき
2	DCツマミ	ポリアミド樹脂 （黄色）（赤色）（緑色）（青色）	—	UL94 V-2	
3	DCコンパネ	ステンレスバネ鋼	—	—	
4	DCコンピース	銅	—	—	
5	DCコンタ	黄銅	—	—	
6	端子ねじ （標準ねじ）	M4×8ねじ	炭素鋼	亜鉛めっき	
		スパック	鋼	亜鉛めっき	
		丸形座金	鋼	亜鉛めっき	
7	DCイタバネ	ステンレスバネ鋼	—	—	
8	DCエンド	変性PPE樹脂（黒色）	—	UL94 V-0	
9	DCトメカナグ	銅	亜鉛めっき	—	
10	連結棒	銅	亜鉛めっき	—	
11	記号板	ポリ塩化ビニル（白色）	—	UL94 V-0相当	
12	端子カバー	ポリカーボネート樹脂（透明）	—	UL94 V-2	
13	ロッククリップ	ポリアセタール樹脂（乳白色）	—	UL94 HB	
14	D.DAレール	アルミニウム	—	—	
15	Cレール	アルミニウム	—	—	
16	Sレール	アルミニウム	—	—	

用途例

○接地とは

電気器具は、感電保護と地絡事故による回路および、機器の保護をする為、電気器具の金属の筐体と地面（アース）を電線で接続します。電子レンジや洗濯機にアース用の電線（緑色の電線）が付属されておりますが、この電線にて電気器具と地面を接続することが、接地です。接地することにより帯電した電気や器具内部で絶縁劣化が発生した場合、筐体を触っても人体に電気は流れずアース用の電線より地面に電気が流れることで感電しません。

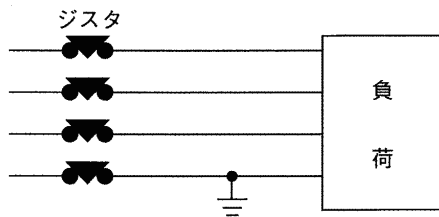
○メグ測定とは

電線は、銅線の表面をビニール等の被覆（絶縁体）で覆うことで外部に電気が流れない様にしておりますが、経年劣化に伴い絶縁体の抵抗値が低下（電気を流し易くなる）することで下記が発生します。

- ・感電事故
- ・漏電による発熱（最悪火災に至る）

この為、絶縁抵抗を定期的に測定（メグ測定）することで事故を未然に防ぐものです。

●各種電路の接地検出、メグ測定端子



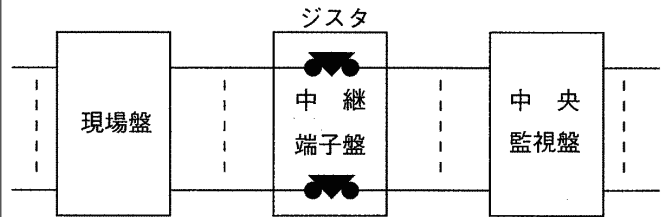
○説明：『3相4線式の電源』と『負荷（電気機器）』に接続された状態で、下記の作業を行なう場合、電源と負荷を電氣的に切り離す必要があります。

- ・接地の確認（接地端子の確認）
- ・メグ測定（絶縁劣化の確認）

○操作方法：ジスタのツマミをON→OFFに操作することで『電源』と『負荷』を電氣的に切り離すことができます。

作業後は、ジスタのツマミをOFF→ONに操作することで、もとの接続状態に戻ります。

○利点：配線の脱着作業および、接続後の配線検査作業が省けますので作業時間・工事費用の削減が出来ます。



○説明：『現場盤』と『中央監視盤』間を多数の電線で接続された状態で、下記の作業を行なう場合、『現場盤』と『中央監視盤』を電氣的に切り離す必要があります。

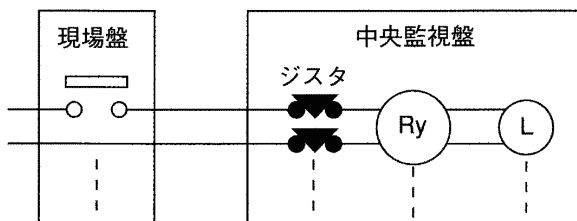
- ・メグ測定（絶縁劣化の確認）
- ・回路のチェック（疑似的に信号を入力して正しく信号が出力されるかの確認）
- ・導通テスト（外部配線の断線）

○操作方法：ジスタのツマミをON→OFFに操作することで『現場盤』と『中央監視盤』を電氣的に切り離すことができます。

作業後は、ジスタのツマミをOFF→ONに操作することでもとの接続状態に戻ります。

○利点：配線の脱着作業および、接続後の配線検査作業が省けますので、作業時間・工事費用の削減が出来ます。

●電源回路と負荷回路の分割端子



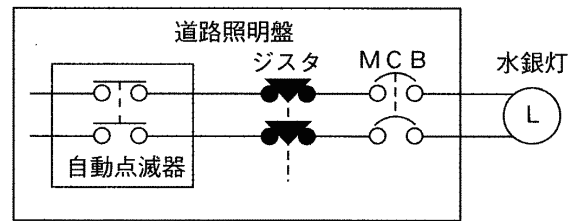
○説明：『現場盤』からの制御信号により『中央監視盤』のリレーを動作させることでランプの点灯/消灯を制御するものです。

『中央監視盤』で保守や点検作業時は、『現場盤』からの信号が『中央監視盤』に入らない様、電氣的に切り離す必要があります。

○操作方法：ジスタのツマミをON→OFFに操作することで『現場盤』と『中央監視盤』を電氣的に切り離すことができます。

作業後は、ジスタのツマミをOFF→ONに操作することでもとの接続状態に戻ります。

○利点：配線の脱着作業および、接続後の配線検査作業が省けますので作業時間・工事費用の削減が出来ます。



○説明：道路照明盤で『自動点滅器』（昼夜の明るさにより自動的に電源を入/切する制御信号を出力する器具）より『MCB（マグネットスイッチ）』へ信号を送り水銀灯を点灯/消灯させる装置です。

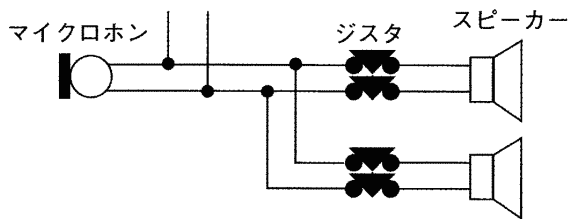
点検作業中『自動点滅器』からの信号が送られると安全に作業が出来ない為、『自動点滅器』と『MCB』を電氣的に切り離す必要があります。

○操作方法：ジスタのツマミをON→OFFに操作することで『自動点滅器』と『MCB』を電氣的に切り離すことができます。

作業後は、ジスタのツマミをOFF→ONに操作することでもとの接続状態に戻ります。

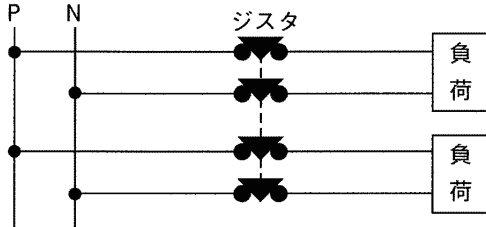
○利点：作業時間が短縮出来ます。

●構内放送などの中継分離端子



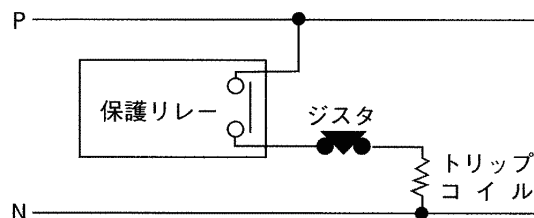
- 説明： 明：色々な場所の『スピーカー』を放送内容によって切替えたい場合、『スピーカー』の切り替えスイッチが必要です。
- 操作方法： ジスタのツマミを操作することにより簡単に『スピーカー』の切り替えが出来ます。
- 利点： 配線の繋ぎ替え作業が省けますので作業時間の削減が出来ます。

●制御電源の系統分割端子



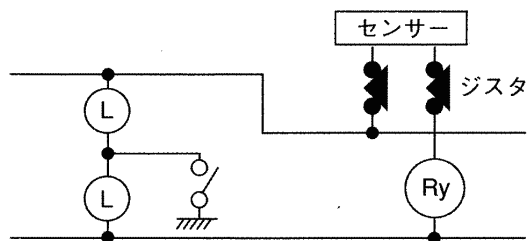
- 説明： 明：制御電源を負荷（系統）別にジスタで分割した状態です。
- 操作方法： 電源を供給する負荷に対してジスタのツマミをONにします。
また、電源を供給したくない負荷に対しては、ツマミをOFFにします。
※断路切り替えとして使用します（負荷開閉不可）。
- 利点： 小スペースで電源の一括管理が出来ます。

●停電作業時の投入、トリップ回路ロック



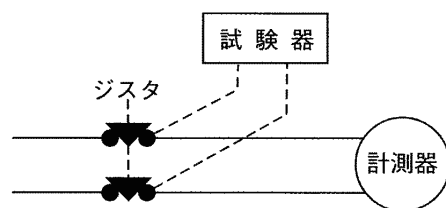
- 説明： 明：地絡事故等により『保護リレー』が動作し『トリップコイル』に信号が伝わることで遮断器が動作し送電が停止（停電）します。
また、電源投入後に停電させたくない場合は、『保護リレー』の信号が『トリップコイル』に伝わらない様にする必要が有ります。
- 操作方法： ジスタのツマミをON→OFFに操作することにより『保護リレー』と『トリップコイル』を電氣的に切り離すことが出来ますので停電作業時の電源投入後、誤って『トリップコイル』に信号を送ることによる停電事故を未然に防止することが出来ます。
また、停電作業後、ジスタのツマミをOFF→ONに操作することでもとの接続状態に戻ります。
- 利点： 配線の脱着作業および、接続後の配線検査作業が省けますので作業時間・工事費用の削減が出来ます。

●回路地絡箇所の発見用開閉端子



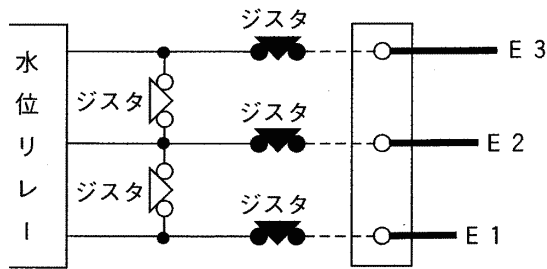
- 説明： 明：電源回路より遠くに取付けられた『センサー』へ電源を供給した回路で、『センサー』の配線が地絡した場合、どの配線が地絡したかの特定が困難です。
- 操作方法： L側のSWをONにした状態で、ジスタのツマミをON→OFFに操作します。
- 利点： ツマミの操作によりLが点灯・消灯し、容易に地絡箇所の発見が出来ます。

●計測器の試験用断路端子



- 説明： 明：『計測器』が正常に動作していることを確認する際、『計測器』の配線を外し『試験器』を繋ぐ必要が有ります。
- 操作方法： ジスタのツマミをON→OFFに操作することにより『計測器』の配線を外さずに『試験器』と繋ぐことで『計測器』が正常に動作しているかの確認が出来ます。
また、測定後ジスタのツマミをOFF→ONに操作することでもとの接続状態に戻ります。
- 利点： 配線を外す必要が有りませんので作業時間の短縮が出来ます。

●水位リレーの引出口端子（運転ロック、試験用）



○詳細：

『水位リレー』と『検出棒』（E1・E2・E3）を接続した状態で、『検出棒』に水が触れた状態により水面位置を検出し、その信号によりポンプ等の動作を制御します。

水面位置	E1	E2	E3	ポンプの動作状態（例）
満水	○	○	○	2台とも停止
中間	×	○	○	1台のみ運転
不足	×	×	○(×でも可)	2台とも運転

- ・○：電極が水に触れている。
- ・×：電極が水に触れてない。

定期検査や動作試験を行なう際、『水位リレー』と『検出棒』を電氣的に切り離す必要が有る。

○操作方法：

【運転ロック】

全ての検出棒が水に浸かっている状態になる様、左図中のジスタのつまみを下記に設定する。

- ・黒のジスタのつまみ：全てOFF
- ・白のジスタのつまみ：全てON

【試験】

ジスタのつまみを下記の状態にすることにより擬似的に水面位置の設定が出来る。

- ・黒のジスタのつまみ：全てOFF
 - ・白のジスタのつまみを下記に操作
- | 液面位置 | E1－E2間 | E2-E3間 |
|------|--------|--------|
| 満水： | ON | ON |
| 中間： | OFF | ON |
| 不足： | OFF | OFF |

作業後は、ジスタのつまみを下記状態に操作することでもとの接続状態に戻ります。

- ・黒のジスタのつまみ：全てON
- ・白のジスタのつまみ：全てOFF

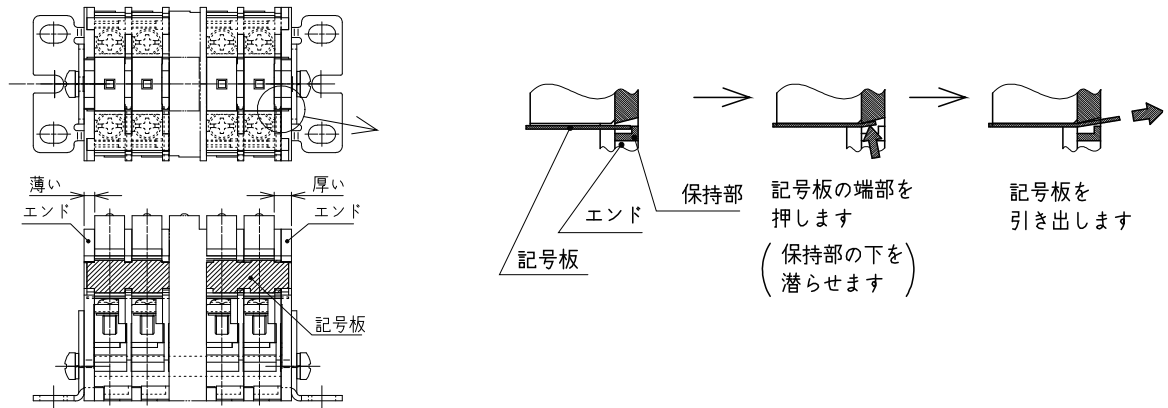
○利点：

配線の脱着作業および、接続後の配線検査作業が省けますので作業時間・工事費用の削減が出来ます。

記号板脱着方法

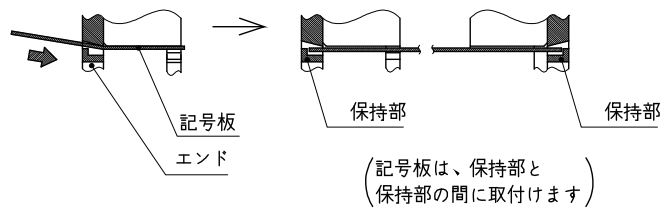
○取り外し方

エンドの記号板端部を押しながら記号板を引き出します(左右どちらのエンドからでも外す事が出来ます)。



○取付方法

薄いエンド側の挿入口より記号板を差し込み反対側のエンドの保持部まで記号板を送り込みます。
尚、取付け後は記号板を左右に移動させ確実に取り付いている事をご確認ください(記号板が長すぎて保持部に保持されない場合、記号板を適度な長さに切断してください)。
厚いエンド側より記号板を取付ける事も可能ですが、記号板に巻き癖が有る場合は送り込み途中で引っ掛かる事がありますので、その場合は巻き癖を直してから取付けを行ってください。



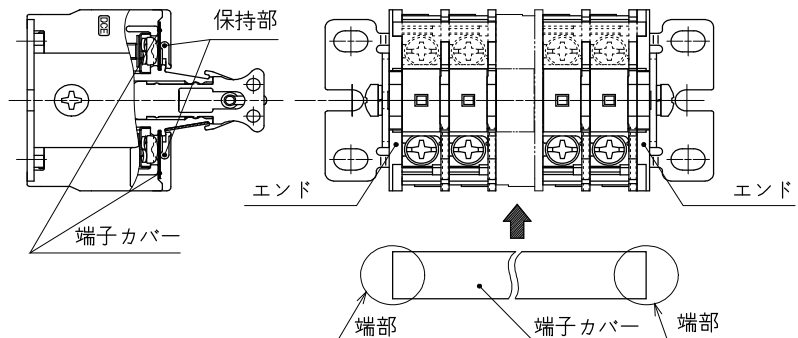
タンシカバー脱着方法

○取り外し方

端子カバーの端部を指でつまみながら手前に引き出す事で取り外し出来ます。

○取付方法

端子カバーの端部をエンドに合わせユニットの保持部に押し込む事で取付けが出来ます。
(端子カバーが長すぎて取付け出来ない場合、適度な長さに切断後取付けてください)。



各種レールへのユニット脱着方法

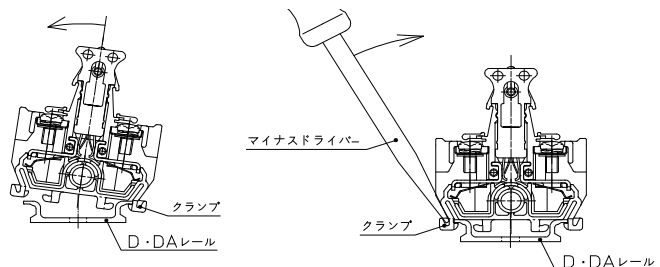
①D・DAレールの場合

○取付方法

ユニットの片側のクランプ部分をレールに引っ掛け後、ユニットをレールに押し付けながら反対側のクランプをレールにはめ込みます。

○取り外し方

ユニットのクランプ部分にマイナスドライバーを差込み後、クランプを起こす事で取り外す事が出来ます。
※クランプを起こす際、起こしすぎるとクランプが変形し、保持力の低下または、破損しますので御注意ください。



※1P毎に行ってください。

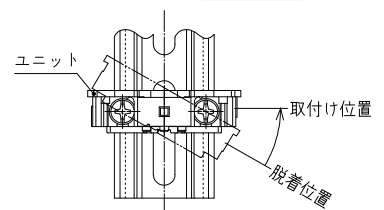
②C・Sレールの場合

○取付方法

上から見てユニットを右に30°回転させた状態でレールに挿入します。
挿入後左へ30°回転させることで取付けが完了します。

○取り外し方

取付方法と逆の手順で操作するとレールからユニットを取り外せます。



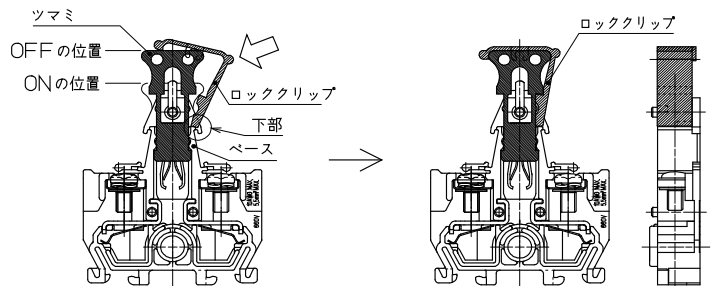
Cレール、Sレール

ロッククリップ脱着方法

ロッククリップとは、断路端子台のツマミが外力によりON位置にならない様、誤操作の防止を目的として取付けるものです。

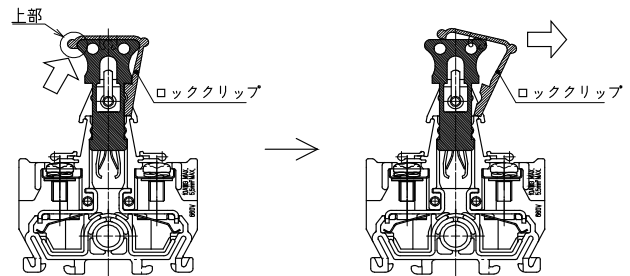
○取付方法

- ①断路端子台のツマミをOFFの位置にします。
- ②ロッククリップの下部を断路端子台のベースとツマミの境目に差し込みます。
- ③右図の矢印の方向にロッククリップを押し込み「パチッ」と音が出るまで押込む事によりロッククリップで ツマミが固定されます。



○取り外し方

- ①ロッククリップの上部に指を引っ掛け引き上げることでより外すことができます。
- ※取り外す際、ロッククリップの紛失にご注意ください。



連動ピンの取付け方

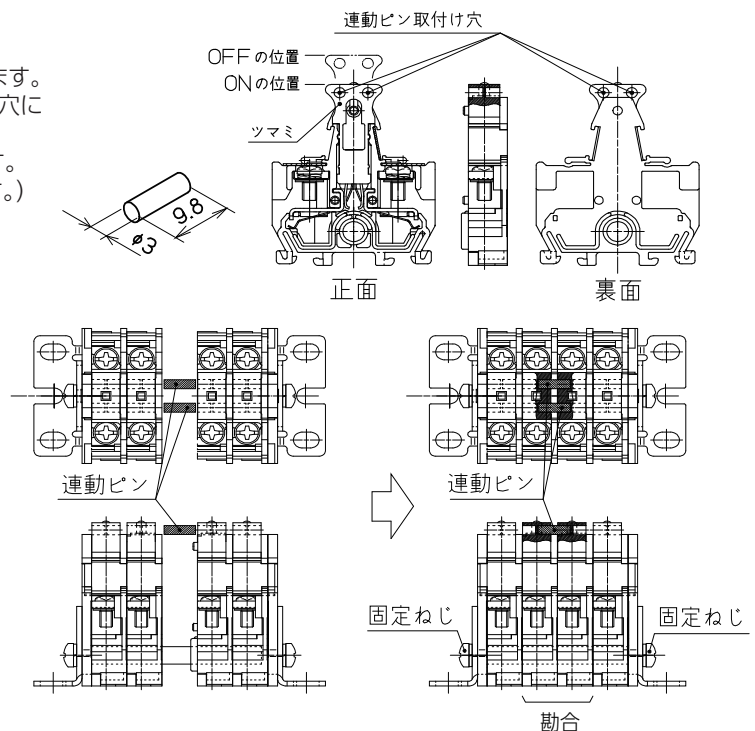
連動ピンは、断路端子台のツマミ操作時に複数回路を連動動作させたい場合に使用します。

尚、連動させるツマミの数量が増えると操作力が増加しますので、最大3極までのご使用を推奨いたします。

(レール式でご使用される場合はツマミ操作時の力でレールがたわみますので、レール取付ねじを増加させる必要があります。)

○取付方法

- ①断路端子台のツマミをONの位置にします。
※OFFの状態では、ユニットからツマミが外れてしまいます。
- ②連動させたい断路端子ユニットの連動ピンの取付け穴に連動ピンを差し込みます。
- ③断路端子ユニットを勘合させ固定ねじを締め付けます。
(レール式の場合はレール固定金具を締付固定します。)

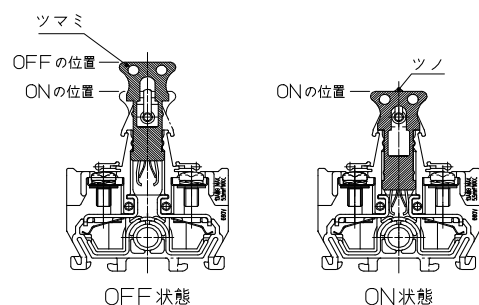


ツマミの操作注意事項

断路端子台のツマミ操作は、確実に行ってください。

不完全な位置で使用されますと、故障および機器焼損の恐れがあります。

- ①ON操作: ツマミをツノが出るまで押込んでください。
- ②OFF操作: ツマミを右図の様に引き出してください。



DC形 オーダーシート

ご注文番号：

数 量：

希望納期：

発行日：

貴社名：

ご担当者：

<製品形式>

DC□20-□-□□-□-()

① ② ③ ④ ⑤

①クイックアップ方式の有無

記号	クイックアップの有無
無し	有
L	無

②極数

極数を記入ください

③組立方法

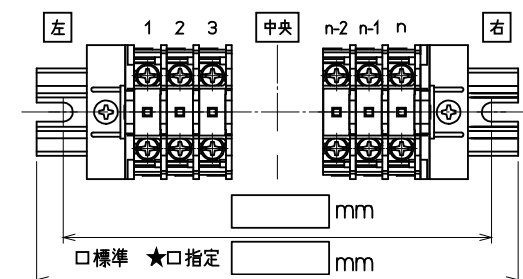
記号	組立方法
無し	固定式
C	Cレール
S	Sレール
D	Dレール
DA	DAレール

④ユニット

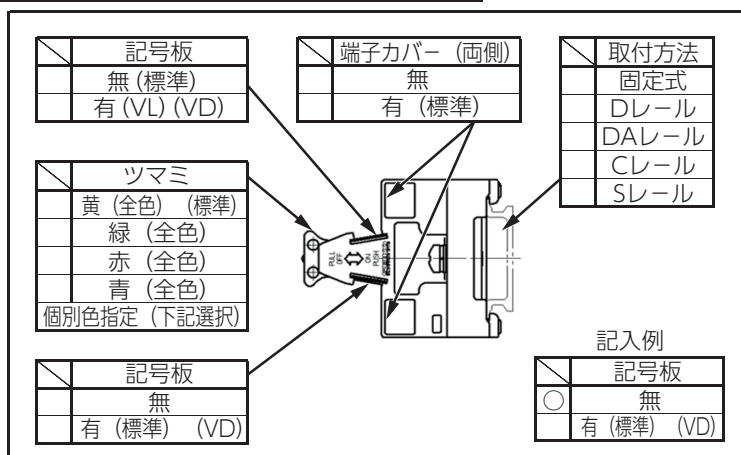
記号	端子部仕様	クイックアップ	端子ねじ仕様
無記入	錫めっき	有	⊕ ⊖ M4×8 ねじ+SW+W
R	銀めっき		
G	金めっき		
Z	錫めっき	無	⊕ ⊖ M4×8 ねじ+SW
T	銀めっき		
V	金めっき		
Y	錫めっき	有	⊕ ⊖ M4×8ねじ+SW+YW
N	銀めっき	無	⊕ M4×8SUSねじ+SPW+S・W
B	銀めっき		

⑤記号板取付位置

記号	仕様
無記入	下図下側のみ
VL	下図上側のみ
VD	両側
NN	無し



★指定を選択された場合のレールへの取付け位置 口左寄せ 口中央 口右寄せ

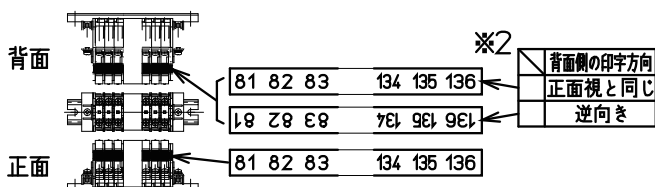


極番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
※記号板表示文字																														
ツマミ色	黄	緑	赤	青																										
連動																														
ロッククリップ																														

極番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
※記号板表示文字																														
ツマミ色	黄	緑	赤	青																										
連動																														
ロッククリップ																														

極番号	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85
※記号板表示文字																									
ツマミ色	黄	緑	赤	青																					
連動																									
ロッククリップ																									

極番号	1	2	3
※1 記号板表示文字	1ac	1a	123456
ツマミ色	黄	緑	赤
連動	○	○	○



※1 ご指定の印字文字の向きで記入ください。

- ・1段：3文字以下
- ・2段かき分け：1行に3文字以下

※2 記号板が両側取付で文字の印字方向が横の場合、背面側の文字の向きを左図欄にご指示ください。

株式会社 正興電機製作所

DC形 オーダーシート (次紙)

ご注文番号：

数 量：

希 望 納 期：

発 行 日：

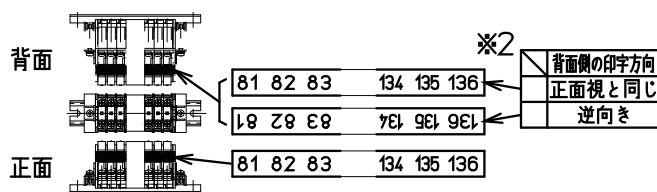
貴 社 名：

ご 担 当 者：

極番号	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115
※記号板表示文字																														
ツマミ色	黄																													
	緑																													
	赤																													
	青																													
連動																														
ロッククリップ																														

極番号	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145
※記号板表示文字																														
ツマミ色	黄																													
	緑																													
	赤																													
	青																													
連動																														
ロッククリップ																														

極番号	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175
※記号板表示文字																														
ツマミ色	黄																													
	緑																													
	赤																													
	青																													
連動																														
ロッククリップ																														



記入例

極番号	1	2	3
※1 記号板表示文字	1ac	1a	123 456
ツマミ色	黄	緑	赤
	青		
連動	○	○	○

※1 ご指定の印字文字の向きで記入ください。

・1段：3文字以下

・2段かき分け：1行に3文字以下

※2 記号板が両側取付で文字の印字方向が横の場合、背面側の文字の向きを左図欄にご指示ください。

接続機器

DC形